2019-2020 年度 国際ロータリー第 2500 地区 地区大会

エクスカーションのご案内

2019 年 10 月 12 日（土） 9:00 ～ 11:40

石川啄木と歩く

啄木歌碑めぐり

タイムスケジュール

8:55 集　合（釧路プリンスホテル前）
釧路プリンスホテル
北海道釧路市幸町 7 丁目 1 番地
TEL 0154-32-1111

9:00 出　発（バスと徒歩で啄木歌碑めぐり）
バス

9:10 歌碑めぐり（バスと徒歩）
徒歩バス

10:30 散策＆軽食
（釧路フィッシャーマンズワーフＭＯＯ）
軽食散策

11:20 出　発（地区大会会場へ）
バス

11:40 大会会場到着

集合は時間厳守でお願い致します。
当日のキャンセル等は緊急連絡先にご連絡下さい。

石　川　啄　木

1886 年岩手県日戸村生れ。本名一（はじめ）。生後まもなく、父が渋民村宝徳寺住職となる。唯一の男子として両親の愛情を一身に受け、村人からは神童と騒がれ、気位高く育つ。盛岡中学在学時に「明星」に感銘、17 歳の時、文学を志して上京するが、健康を害し帰郷。20 歳で処女詩集『あこがれ』を出版、天才詩人の評判を得る。しかし、自分の才能と自負心と、両親妻子を養わねばならぬ貧困の現実とに引き裂かれ続け、1912 年肺結核で不遇の生涯を閉じた。享年 27 歳。

歌集『一握の砂』、友人らの尽力で死後出版された『悲しき玩具』、詩集『呼子と口笛』等がある。

啄木が釧路駅に降り立ったのは、1908 (明治 41) 年 1 月 21 日の夜。啄木が二十二歳の時のことで「**さいはての駅に下り立ち雪あかり　さびしき町に　あゆみ入りにき**」という歌は有名です。釧路新聞の編集長として七十六日間滞在し、紙面上で時事評論、随筆、詩、論文、短歌と相当な数の作品を残しています。南大通にある啄木通りには、啄木歌碑が 24 基建っていて、旧釧路新聞社跡、啄木下宿跡、料亭跡など啄木ゆかりの史跡も点在しています。

2019-2020 年度 国際ロータリー第 2500 地区
吉田潤司ガバナー事務所
地区大会実行委員会

〒085-0016 北海道釧路市錦町 5-3　三ツ輪ビル 2F
TEL : 0154-61-0018　FAX : 0154-61-0017
当日緊急連絡先　090-8632-4856（担当　池田　一己）